

生涯学習 がんばっています!

姉弟で将棋を始め、どんどん強くなっていった男の子。走るうちに目標ができた男の子。今回は生涯学習講座の「ふれあいひろば将棋」と「長距離走教室」に参加された方の声を紹介します。

ふれあいひろば将棋クラブ

富本怜苑さん



お兄さんたちが優しく教えてくれたので、楽しく将棋を指すことができました。中学年になってくると、全く勝てなかった父とも、いい勝負ができるくらいにまで成長し、将棋の面白さが本格的に楽しめるようになりました。戦略のはばも広がり、ふれあいひろばに行くことが毎回楽しみで楽しみで前日からドキドキしていました。

今は、姉が中学校に通っていて、一人で行くことも少なくないです。家族内でも一番強くなり、先生方ともいい勝負ができて、本当にうれしく思います。NHKの将棋番組をみたり、本を読んだりして日々強くなるように努力しています。そして、いつか三〜四段になりたいです。

将棋はまちがえたり、負けたりすることも多いですが、そのぶん勝つ喜びも大きいです。中学生になったら、部活と勉強を両立させつつ、将棋も楽しんでいきたいと思っています。

練習の積み重ね

林 祐大朗さん



ぼくは走る事が大好きです。昨年からは長距離走教室に入りました。まずこの1年間で、人に走り方がきれいになったねと言われました。そして50m走のタイムが0.4秒速くなりました。先生のおかげです。教室では、アップジョグとストレッチで始まります。中間は、毎回おもしろいいろいろなメニューを先生が用意してくれます。そして最後に、クールダウンとストレッチで終わります。先生はいろいろなアドバイスをくれます。

ぼくは、体力をもっとつけたいと思い、毎回練習のたびに少しずつハードルを上げて、少しでも速くなるうという思いでがんばっています。

教室の先生に出会ってぼくはいくつかの目標を持つようになりまし。その中の一つは、愛知駅伝の選手として選ばれて活やくすることで、また、各地のシティーマラソンに参加しているいろいろなコースを走りたいです。教室は子どもから大人までやれるので、ぜひのぞきにきてみてください。

キッズレポート

がんばってるJUN

後藤優心さん

ぼくは、二年生から空手をやっています。

空手は、とてもむずかしいスポーツです。手の位置や足の開きなど、いろいろなむずかしいことがあります。

友達が空手をやっていて友達が入ったのですが、だんだん友達をやめていってしまいました。すごくさびしかったけれど、今は、学校も学年もちがう友達ができました。ぼくは、そこから、だんだん帯の色が変わっていきついに茶帯になりました。

「もう、いやだ。」疲れた。」と思う日はいっぱいあったけれど、それを乗り越えて一級になりました。次の試験は黒帯の初段になります。

ここまで続けられたのは、先生や親のおかげだと思っています。ぼくは、感謝しています。

今度の試験は、一回で黒帯がとれる様になんぼります。

